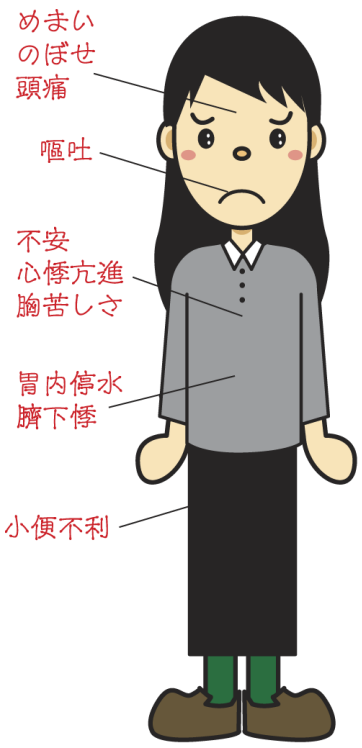
苓桂甘棗湯 (りょうけいかんそうとう)

【処方コンセプト】下から突き上げてくるような動悸を訴え、緊張で神経が高ぶる方に。

不安感が非常に強く、人前に出ると緊張してドキドキしたり、ストレスが溜まりやすく イライラしやすい神経質な方の精神不安、動悸などに用いる。

◆へそ下の動悸が第一目標で、これが時に発作的に突き上げたり、胸中が詰まるように感 じたり、腹痛を伴うこともある。

◆上記の病気を漢方では奔豚気病（ほんとんきびょう）という。 現代医学でいうヒステリー性の心悸亢進に相当するもので、発作的に下腹部から胸に衝 き上げてくる激しい動悸（あるいは腹痛）で、胸腹部を子豚が走り回るような感覚があ ることから、このように呼ばれている。驚き・恐れなどの不安に敏感に反応している結果起きると考えられる。



◆このような発作性の心悸亢進（動悸、衝逆）を訴えることから、パニック障害などの不安神経症、神経性心悸亢進症、心臓神経症、ヒステリー、神経衰弱、ノイローゼなどの 精神神経疾患に応用されている。

◆また、胃内停水や消化管の痛みや痙攣を目標に消化器疾患（器質的障害ではなく機能的障害） にも応用されている。

・胃内停水、嘔吐などを訴える胃拡張、胃液分泌過多など
・蠕動亢進や激しい腹痛を訴える胃痙攣、イレウスなど

【処方構成】4味

桂皮（ケイヒ）・甘草（カンゾウ）の組み合わせで気の上衝（過剰にのぼせ上がること)を引き下げ、大棗（タイソウ）は筋肉の緊張、痙攣を主治し、咳、上気、奔豚、煩躁、胸痛、腹痛を治す。茯苓（ブクリョウ）には利水、鎮静、強心の働きがあり、大棗と共に桂皮・甘草を助けて、気の上衝を鎮め、水毒を取り除く。

ブクリョウ —— 利水鎮静

タイソウ —— 急迫、煩躁の緩和 —— カンゾウ

ケイヒ ┐ 気の上衝を下げる
カンゾウ ┘

	解表			斂肺	補気				利水			疎肝		理気			駆瘀血		安神			配合生薬数
	桂皮	蘇葉	生姜	五味子	甘草	大棗	黄耆	人参	茯苓	白朮	半夏	柴胡	釣藤鈎	陳皮	厚朴	木香	川芎	当帰	遠志	酸棗仁	竜眼肉	
苓桂甘棗湯	○				○	○			○													4
苓桂朮甘湯	○				○				○	○												4
苓桂味甘湯	○			○	○				○													4
抑肝散加陳皮半夏					○				○	○	○	○	○	○			○	○				9
帰脾湯			○		○	○	○	○	○	○						○		○	○	○	○	12

半夏厚朴湯		○	○						○		○				○						5

処方名	類　方　鑑　別
苓桂甘棗湯	神経が高ぶりやすく、臍下の動悸が発作的に胸につきあげてくる(奔豚気病)。
苓桂朮甘湯	尿の出が悪く、不安感があり、動悸、めまい、立ちくらみがある。
苓桂味甘湯	顔面紅潮して、頭冒感(頭に何かかぶったような感じ)や咳を訴える。
抑肝散加陳皮半夏	イライラしてストレスを発散できず、神経が高ぶって、怒りっぽい。
帰脾湯	心配症で、身も心も疲れる方の精神不安、不眠症に。
半夏厚朴湯	緊張が強くノドに異物感がある方の不安神経症、せき、神経性胃炎に。